

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

真似することによって共感力が高まる

校長 竹花 和人

※11月1日(火)の全校朝会講話より

創立70周年記念文化祭が終わって、10日ほど過ぎました。改めて振り返ってみても、本当に素晴らしい文化祭であったと思います。生徒の皆さんの活躍の場がたくさんあって休む暇がない暇がないような文化祭でしたが、全員が確実にステップアップしたと私は思います。

さて、11月は生徒会役員や各委員会、各係が新しく決まり、2年生中心の新しい組織として活動を始めることとなります。大きな学校行事はありませんが、だからこそ日常の生活を改善するため、島守中学校をもっと楽しい中学校にするための活動を工夫できる時期だと思います。そのような時期で、さあがんばろうとやる気になっている皆さんに、今日は京都大学大学院教区学研究科教授の明和政子さんの「サルまねするのは人間だけ」という言葉を紹介します。明和さんの専門は「比較認知発達科学」といい、「ヒトの育ち」と「チンパンジーの育ち」を比較し、それぞれの共通部分と異なる部分の両方を特定し「ヒトはいつからヒト独自の心のはたらきを獲得していくのか」を解明しようとしています。そのなかで、よく「サルまね」と言っていて猿は人間や仲間のまねをしているように言われていたが、実際には猿やチンパンジーは他の生き物のまねをすることはなく、まねをすることは非常に難しいということが分かってきたのだそうです。しかし、人間では生まれて1時間ほどの赤ちゃんが、ほかの人の表情を真似するという研究もされているそうです。例えば、他人がレモンをかじっている表情を見て、酸っぱさを感じて同じような表情をしてしまうことがあります。これは人間だけに与えられている「真似する」という能力を鍛えていった結果、「共感力」が高まっていった証拠だそうです。

新しい委員会や係で何かをやりたいと思った時に、急には新しいことが思い浮かばないことが多いと思います。その時は思い切って「先輩たちのやってきたことを真似して行う」ことも必要だと思います。1、2年生は現在の3年生がやってきたことを手本にしてまず真似してみましょ。そして、改善したいことや新しいアイデアが浮かんで来たらそれを実行していけばいいのです。また、3年生は昨年度の3年生の今頃の様子を思い出してみましょ。そしてその行動を真似してみるのです。そうすることで、学校生活がさらに充実するはずですよ。

人間だけにある「真似する」という能力を積極的に活用することで、自分自身を成長させるとともに、よりよい島守中学校をつくっていきましょう。

サルまねするのは人間だけ

田代中学校との統合に向けた取組を進めています

島守中の隣接学区である田代小中が、平成29年3月末で閉校し、平成29年度からは島守小・中と統合されます。そのため、島守中では田代中との統合に向けて様々な形での交流を行っています。

9月には、さわやか八戸グッジョブウィークと一緒に職場体験活動をしたり、幼児ふれあい体験を一緒に行ったりしました。さらに市中体秋季大会では、田代中の生徒が島守中野球部の試合を応援してくれました。

10月には、10月23日(日)に行われた島守中の文化祭に田代小・中の児童生徒を招き、展示やステージ発表を見してもらいました。また10月30日(日)には、田代小・中の最後となる文化祭に、島守中の1, 2年生が訪問し、展示やステージ発表を見してもらいました。

このような交流を通して、島守中の生徒と田代小・中の児童生徒が少しずつ仲良くなってきたようです。このような交流を3学期も行うことで、平成29年4月からの新しい島守中のスタートが円滑に行われるようにしていきたいと思えます。



G J での交流 (9/7)



赤ちゃんふれあい体験での交流 (9/16)



田代小・中の文化祭 (10/30)

後期の委員長と室長・副室長の認証を行いました

11月8日(火)の全校朝会で、後期の委員長と室長・副室長の認証を行いました。初めて委員長や室長・副室長になった生徒からは、緊張感とともにやる気も感じられました。島守中学校をよりよい学校とするために、頑張ってくれることを期待します。

後期委員会の委員長

- 代議委員会 住澤 祐人
- 広報委員会 林 璃央
- 保健・給食委員会 畑 穂乃佳
- こくぞう委員会 館 隼人

後期室長

- 1 A 住澤 秀人
- 2 A 住澤 祐人
- 3 A 犹守 愛優

後期副室長

- 1 A 坂本 結南
- 2 A 林 千秋
- 3 A 館 海斗

3学年進路説明会を実施しました

11月4日(金)の放課後、3学年進路説明会を実施しました。まず始めに平成29年度県立高校入試と八戸高専入試・八戸市内私立高校入試の要項について学年主任から説明しました。

小学校とは異なり、中学校を卒業したあとの進路は生徒一人一人異なります。保護者の方の中には、初めて我が子の受験を迎えることになり、不安な思いでいる方もいると思います。中学校では、3年生たちが適切な進路選択ができるように、学級担任との教育相談や保護者を交えた三者面談などを実施し、生徒も保護者も納得して受験できるように努めてまいります。御家庭でも進路について時間をかけて話し合い、納得いくような選択をしてほしいと思えます。



